

令和5年6月22日

三桜酒造跡地利活用の一つとして「石見神楽伝承施設」検討のお願い

浜田市長 久保田 章市

1. 提案内容

三桜酒造跡地の公共利活用策の一つとして、この場所で、「石見神楽伝承施設」を設置することについて、ご検討いただきたい。

2. 提案理由

「石見神楽伝承施設」については、これまで、各方面から設置要望がありました。今般、財政面の目途が立ったことから、令和5年度施政方針で設置検討を表明。設置場所については、いくつか候補地がありますが、三桜酒造跡地を追加するかどうかについては、検討委員会での検討結果を踏まえて、検討させて頂きたい。

1. 「石見神楽伝承施設」設置構想

(1) 設置の狙い

- ・浜田市には石見9市町の中で最多の50を超える神楽団体があり、神楽衣装、神楽面、蛇胴などの神楽産業の工房も数多くある。
- ・石見神楽が日本遺産に認定されて以降、他市町も石見神楽振興に力を入れている。
- ・浜田市が「石見神楽の本場」であることを国内外に発信し、神楽ファンに当市を訪れていただくためには、そのシンボルとなる、石見神楽の歴史・文化を伝える施設が必要。

(2) 施設の概要～次の2施設で構成

① (仮称)石見神楽伝承館

石見神楽の歴史(6調子・8調子の全市神楽)の説明、社中の紹介、神楽面変遷の解説、神楽衣装・神楽面・蛇胴などの展示、石見神楽の映像上映、神楽衣裳の試着体験など。

② (仮称)神楽ホール(客席約200席) 伝承館に併設。三宮神社の代替施設

石見神楽上演のほか、音楽イベント、文化講演会なども開催できる多目的ホール。



参考:「神楽資料館」(安芸高田市)



参考:「かむくら座」(安芸高田市)

(3) 設置場所 未定(交通アクセス、「音」の問題、駐車場等を考慮する必要あり)

候補地としては、(ア)浜田城資料館隣接地、(イ)はまだお魚市場周辺、加えて、本検討委員会の検討結果によっては(ウ)三桜酒造跡地、など。

2. 「石見神楽伝承施設」をめぐる動き

- 平成 8 年度 市の観光振興ビジョンの中で石見神楽の伝承・拠点づくりを掲げる。
- 平成 22 年度 民間有志によって、三桜酒造の酒蔵を活用し、「飲食・物販・神楽伝承館など」の機能を持つ複合施設建設が検討された。
- 平成 23 年度 市が、石見神楽伝承施設に関する神楽社中や市民意識の調査を実施。
- 平成 27 年 3 月 浜田石見神楽社中連絡協議会(11 社中)から、常設神楽館設置の要望。

市議会においても、平成 11 年 6 月～令和 5 年 3 月までの間、延べ 10 人の議員から「石見神楽伝承施設を作るべき」の主旨の一般質問があった。

令和 5 年 2 月 令和 5 年度施政方針の中で「(仮称)石見神楽伝承館」の設置検討表明。

3. 令和 5 年度施政方針で設置検討表明を行った経緯

これまで、各方面から設置要望があったにもかかわらず、設置検討が出来なかった主な理由は、次の 2 点。

- ① 財政的に厳しい
 - ・「石見神楽伝承施設」設置には、多額の整備費が必要。
- ② 適当な設置場所がない
 - ・「石見神楽伝承施設」の設置場所は、交通アクセスがよく、駐車場が確保でき、「音」の問題がない(近隣に住宅が少ない)、などに留意する必要がある。

このうち、①については、ふるさと寄附の中で、使途を「石見神楽などの伝統芸能の継承」に指定した積立金が約 7.6 億円ある(令和 5 年 3 月末。今後も毎年 1 億円以上の増加が見込まれる)。この積立金を使うことができれば、財政的には対応可能なことから、令和 5 年度の施政方針の中で、「(仮称)石見神楽伝承館」の設置検討を表明した。

なお、②の設置場所については、候補地として現在、(ア)道路や駐車場の整備を行った浜田城資料館隣接地、(イ)はまだお魚市場の駐車場の一角、などを考えている。これに(ウ)三桜酒造跡地が候補地に加われば、設置場所検討の幅が広がる。

4. 市内神楽関係者への説明

平成 23 年度に行った石見神楽伝承施設に関する調査では、施設の必要性についての質問に対し、一般市民の 54.0%が「必要性を感じている」と回答。しかし、神楽社中は、「必要である」との回答が 44.2%であった。

本年 4、5 月に市内 5 地域の神楽協議会を訪問し、私(市長)から協議会代表に、「石見神楽伝承施設」構想について説明。全地域の協議会に、ご理解を頂いた。

以上